

クロムペイント大検証

数あるペイント技の中でもこの春大注目なのが科学の進歩によって実現したクロムペイント。通常のクロムよりも手軽で様々な使い方が出来るこの最新テクをいち早く大検証! 要チェックですよ!

今、大注目!の新基軸テク

ナビゲーター TAKEUCHI AUTO
タケウチ13
ナノAgシステムを活用したペイントワークを得業とする「タケウチオート」代表。豊富な化学知識を持ってナノAgを使いこなす業界屈指のスペシャリスト。
Shop DATA
●タケウチオート
●神奈川県川崎市
●川崎1-12-6
●TEL: 0465-22-4621
http://takeuchi-auto.com/
取材協力
●クロムペイント
●072-775-5375
●日本車研
●072-966-1201
●プレイフルレーディング
●046-807-6672



クロム×キャンディで Bling Blingな極彩色も可能!

染料を使った「ナノAgシステム」による水溶性ナノクロムの実態に迫る!

#1

さてまずはこのクロムペイントとはいったい何ぞや?という疑問を徹底解剖。水溶性の薬液で化学反応させる「ナノAgシステム」という新技術のクロムペイントをチェックだ。

ナノクロムってなんなの?

通常	ナノAgシステム
粒子径: 約100nm	粒子径: 約20nm
透明度: 低い	透明度: 高い
発色: 単色	発色: 多彩

染料の粒子に比べ、より細かい粒子で構成されるナノAg。細かいので塗膜の滑らかさに格段の差がある。

通常の塗料より粒子の粒が細かい塗料を使うので、透明度が高く、なめらかに仕上がる新技術だ。

クロムはもちろん、キャンディもナノ素材でできるのだから発色と輝きが段ちがいだ

どんなコトができるの?

クロム×キャンディのナノシステムコンビで豊かな発色

ナノAgはクロムペイントの他にナノキャンディも可能。しかも透明度が高く重ね塗りに適しているのが、今回のようなクロム×キャンディ、といった組み合わせではもっとも威力を発揮するのだ。



ちなみにダッシュボードやステアリングは左ページで紹介している「ソフトフィール」で施工し、キャンディクロムとコーディネート。



他の特殊塗料との相性もバツグン

ナノクロムは塗膜が非常に薄く、滑らかに仕上がる為、他の塗料との組み合わせによる重ね塗りに最適。特殊ペイントであるクラックペイントやゴブウェブなどのベースとしても使用できるのが大きな利点だ。



クロムを下地に重ね塗りした塗料。左上がクラックペイント、左下がゴブウェブ、右上がラップ、右下がソフトフィール。

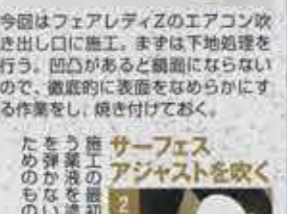
システムに欠かせないのは純水ろ過装置に2頭ガン、乾燥炉、専用の薬剤だ

使用するモノは?



こちらはトップコートやシンナーなど、仕上げのための専用薬液。

純水洗浄と焼き付けがこのシステムのキモ。薄く塗るだけで仕上がるのも特徴だ



2頭ガンでナノ溶液を吹く

このシステムに必要不可欠な純水を作るための過装置。99.9%という純度の水を作り出すため、高価な装置なのだ。

クロム地が出来上がる

クロムさせることによって化学反応によりクロムが溶け出す。最初は粗い形状で塗るが、徐々に滑らかになる。これを交互に繰り返して洗っていく。

洗淨して焼き付ける

乾燥炉で焼き付け作業に入る。サイズは形状にもよりますが、この乾燥炉は表面が水を弾かないように、水を馴染ませるためのものなのだ。

まずはナノキャンディを一度塗り

今回は上にナノキャンディを重ね塗りする工程も紹介。専用した染料をガンに入れて、まずはサッと表面に吹き付けよう。

一旦表面を足付け状態にする

一度吹き付けた状態から、このように足付け状態にする。足付け状態にするのは、このように足付け状態にする。足付け状態にするのは、このように足付け状態にする。

さらに吹き付けを行う

このように足付け状態にする。足付け状態にするのは、このように足付け状態にする。足付け状態にするのは、このように足付け状態にする。

これで塗り作業は完了

これで塗り作業は完了。塗り作業は完了するのは、このように塗り作業は完了する。

クロム感もキッチリ残した発色がイイね

クロム感もキッチリ残した発色がイイね。発色がイイねのは、このように発色がイイねする。

編集部WHOZEEが知ったかチャレンジ!

番外編

「キャンディならまかしとけ」

キャンディ編

「最初は余裕だよ〜ん」

クロム編

「エッ?まだ?もういい?」

「新しいヤツは3倍速い〜」

「ワンモアチャンス!」

「いやだって、アレむず〜」

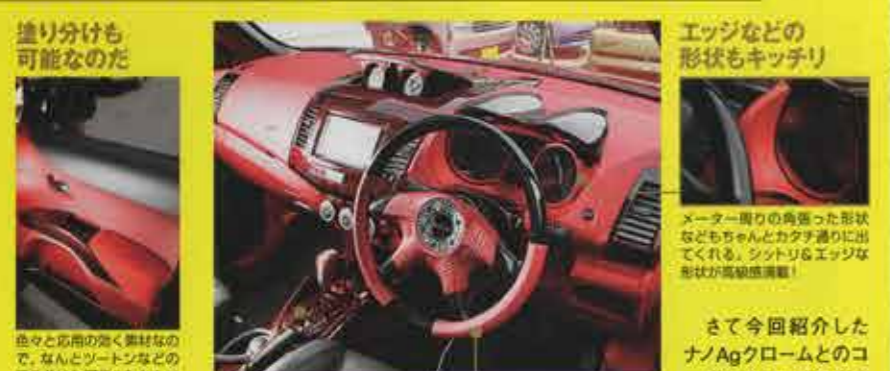
「そして反省会というわけで反省会」

「ムラが...」

「失敗!」

「自分のペースでやりすぎたな」

ナノクロムにもピッタリ! ラバーのような触り心地のSCOOP! 新塗料「ソフトフィール」が激ヤバ!



割がれにくいので触る部分にも!

色々と応用の効く素材なので、なんとシートなどの張り分けも可能。なんとシートも張り分け可能。なんとシートも張り分け可能。なんとシートも張り分け可能。